

平成23年10月
宮津商工会議所

1 宮津市の人口・世帯数(平成23年9月末現在)

【住民基本台帳より(外国人登録含む)】

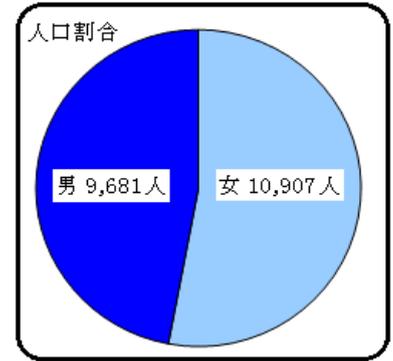
人口 20,588人(男:9,681人、女:10,907人)
(前年同月比 -266人)

世帯 8,812世帯
(前年同月比 -20世帯)

<資料:宮津市役所 市民室>

9月末の宮津の人口は、前年同月比-266人(-1.3%)、世帯数は対前年同月比-20世帯と、減少傾向が続いている。

※ 住民基本台帳に基づいた人口・世帯数であり、推計人口とは異なります。



2 一般職業紹介状況

	新規求職数	新規求人数	就職件数	有効求人倍率(実数)		
				宮津出張所	京都府	全国
平成23年6月	231	200	80	0.49	0.56	0.56
(前年同月比)	+16	-12	+3	+0.05	+0.07	+0.09
平成23年7月	170	254	104	0.62	0.60	0.60
(前年同月比)	-22	-25	0	+0.04	+0.09	+0.10
平成23年8月	194	193	76	0.65	0.64	0.65
(前年同月比)	+19	+21	-4	+0.06	+0.10	+0.12

<資料:ハローワーク宮津>

宮津出張所の有効求人倍率は、20ヶ月連続の増加となり、前年同月比で+0.04~0.06%となっている。また、全国では17ヶ月、京都府では16ヶ月連続の増加であった。

【有効求人倍率とは】公共職業安定所で扱った月間有効求人数を月間有効求職者数で割ったもの。

この値が1より大きければ、求職者よりも求人数が多いことを意味し、就職口を求めている人にとっては相手を選ぶことができるため有利となっており、それだけ経済に活気があると考えられる。

3 宮津観光入込状況

宮津天橋立IC・与謝天橋立IC交通量 ※()は内無料通行台数

	宮津天橋立IC		与謝天橋立IC	
	入口(台)	出口(台)	入口(台)	出口(台)
平成23年7月	67,469(25,667)	69,826(29,627)	72,825(29,627)	70,937(25,667)
(前年同月比)	-12,933	-16,271	—	—
平成23年8月	85,289(28,720)	86,615(32,634)	88,562(32,634)	87,256(28,720)
(前年同月比)	-24,504	-27,071	—	—
平成23年9月	60,175(24,649)	61,761(28,121)	66,292(28,121)	64,400(24,649)
(前年同月比)	-12,577	-13,050	—	—

<資料:京都府道路公社>

宮津天橋立ICの7月~9月の交通量は全体的に減少となっている。理由として、NEXCO無料化社会実験中止等、9月については台風の影響で通行止めになった事が考えられる。

宮津市内主要駐車場 利用状況 ※()は内バス台数

	市営天橋立	智恩寺	パーキングはままち	籠神社
平成23年7月	989台(2台)	4,595台(473台)	11,225台(7台)	2,245台(711台)
(前年同月比)	-679台(-1台)	-448台(+327台)	-7台(-4台)	+135台(-35台)
平成23年8月	2,521台(6台)	8,262台(168台)	12,162台(8台)	2,569台(375台)
(前年同月比)	-781台(+1台)	-1,251台(+83台)	+89台(-3台)	+282台(-4台)
平成23年9月	1,471台(2台)	4,365台(411台)	10,853台(11台)	2,630台(747台)
(前年同月比)	+456台(0)	-1,149台(+235台)	+408台(+7台)	+222台(-159台)

<資料:宮津市役所 建設室・智恩寺・(株)まちづくり推進機構・籠神社>

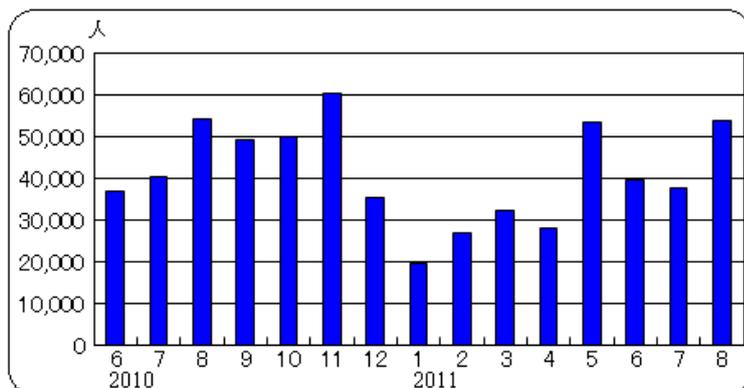
宮津市内主要駐車場の3ヶ月間の入込数については、全体で前年同月比 2,723台の減少となったが、バスについては447台の増加となった。

天橋立傘松公園 ケーブルカー・リフト利用客数

平成23年6月	39,601人
(前年同月比)	+2,887人
平成23年7月	37,549人
(前年同月比)	-2,759人
平成23年8月	53,536人
(前年同月比)	-523人

<資料:丹後海陸交通株式会社>

7月は前年同月比で7.9%増加であったが、8月、9月は減少している。

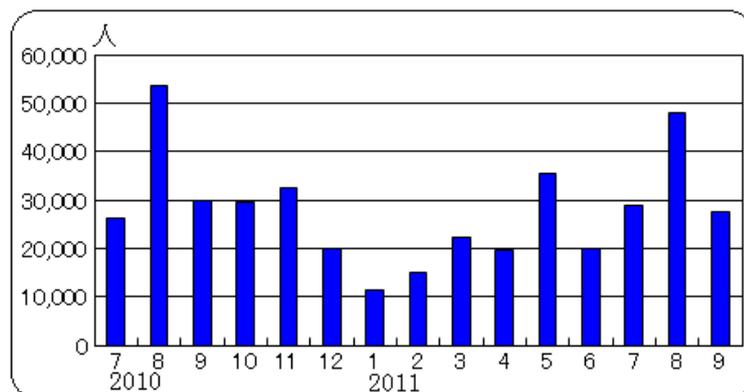


天橋立ビューランド モノレール・リフト利用客数

平成23年7月	28,733人
(前年同月比)	+2,414人
平成23年8月	47,804人
(前年同月比)	-5,861人
平成23年9月	27,568人
(前年同月比)	-2,212人

<資料:天橋立総合事業株式会社>

7月は前年同月比で9%増加であったが、8月、9月は減少している。



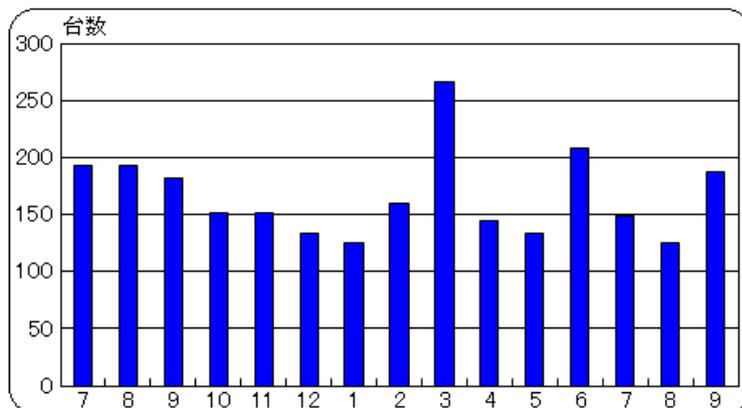
4 自動車車庫証明申請台数

【普通車(新車・中古車)】

平成23年7月	148台 (前年同月比 -45台)
平成23年8月	125台 (前年同月比 -68台)
平成23年9月	188台 (前年同月比 +6台)

<資料:宮津警察署>

車庫証明申請台数については、前年同月比で7月 -23.3%、8月 -35.2%と大幅に減少となったが、9月は若干増加している。



5 トピックス

宮津景況調査アンケート(調査期間 平成23年7月～9月) 回答企業数 28社

※調査方法 建設業・小売業・卸売業・製造業・サービス業の5業種を、規模、事業内容等を考慮し、各10社以上、計62社にアンケートをお願いした。

問1 今期の貴社の状況は、昨年と同じ時期と比較してどうですか。また、今後の見通しはどうですか。
全体 28/62

		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額	増加	0	3	8	7	10	減少
仕入単価	低下	0	1	15	10	2	上昇
採算	好転	0	2	10	9	7	悪化
今後の売上見込	増加	0	2	9	10	7	減少

建設業

		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額	増加	0	1	0	1	2	減少
仕入単価	低下	0	0	2	2	0	上昇
採算	好転	0	0	2	1	1	悪化
今後の売上見込	増加	0	1	0	1	2	減少

小売業

		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額	増加	0	0	2	3	1	減少
仕入単価	低下	0	1	3	2	0	上昇
採算	好転	0	1	2	2	1	悪化
今後の売上見込	増加	0	0	3	2	1	減少

卸売業

		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額	増加	0	0	1	0	1	減少
仕入単価	低下	0	0	1	1	0	上昇
採算	好転	0	0	1	0	1	悪化
今後の売上見込	増加	0	0	1	0	1	減少

製造業

		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額	増加	0	2	3	1	2	減少
仕入単価	低下	0	0	5	3	0	上昇
採算	好転	0	1	2	3	2	悪化
今後の売上見込	増加	0	1	2	3	2	減少

サービス業

		かなり	やや	不変	やや	かなり	
売上額	増加	0	0	2	2	4	減少
仕入単価	低下	0	0	4	2	2	上昇
採算	好転	0	0	3	3	2	悪化
今後の売上見込	増加	0	0	3	4	1	減少

問2 現在直面している経営上の問題点がありましたら記入して下さい。

◇建設業

- ・人材不足。
- ・官民共に落ち込み仕事が無い。
- ・技術的な後継者を育成したくても余裕がないため、即戦力に頼ってしまう。
- ・仕事の受注が非常に困難。

◇小売業

- ・人材育成。(2件)
- ・後継者の育成。
- ・社員資質向上。
- ・特に販売部門は減少の傾向(価格競争も含めて)。並行して資金繰りに注意をする。
- ・人口自然減による顧客の減少。
- ・燃料代の高騰による経営の圧迫。
- ・売上高の減少。

◇卸売業

- ・販売先(小売店)の減少による売上低下と設備老朽化による設備資金の肥大。

◇製造業

- ・需要の落ち込みによる受注の減少。
- ・売上の減少。(2件)
- ・運転資金。
- ・設備の増設と人員の増加。

◇サービス業

- ・災害の影響を受け売上げが減少している。
- ・来場者減少。
- ・公共事業の減少で需要が少ない。
- ・組織構成の高年齢化になり、うまく世代交代できるか。
- ・今後、カニシーズンを迎えるにあたり、カニの仕入れ、野菜の仕入れの高騰が利益率の悪化を招く。
- ・施設の老朽化。
- ・景気低迷で物流量が減少している。

問3 上記の問題等について、現在、及び、今後実行しようとしている改善策等がありましたら記入して下さい。

○現在取り組んでいる改善策

◇建設業

- ・原価及び経費の削減。(2件)
- ・万策尽きてます。

◇小売業

- ・ネット事業の強化。
- ・業務の高率化。
- ・新しい購買手法。
- ・電気代の節約。

- ・経費節減。(2件)
- ・全ての支出面に節減意識をもつ。
- ・店の特長を生かす部門に重点。
- ・在庫の圧縮。

◇卸売業

- ・経費節減と顧客管理の徹底。

- ・経費節減と販路の見直し。

◇製造業

- ・経費節減。(3件)
- ・新製品の開発。
- ・既存商品の良さのPR。

- ・人件費以外の経費の削減。
- ・売上増による資金の円滑化。

◇サービス業

- ・ネットでの販路拡大。
- ・新規商品開発。
- ・優待券発行による来場者増加対策。

- ・経費節減。(2件)
- ・人財の教育、育成。
- ・新規採用。

○今後実行しようとしている改善策

◇建設業

- ・経費節減。

- ・万策尽きてます。

◇小売業

- ・ネット事業の効率化。
- ・社員教育の実施。
- ・地元産品の販売重視。

- ・電気自動車の導入。
- ・ロス対策。

◇卸売業

- ・新規顧客の開拓。

- ・引き続き経費節減と販路の見直し。

◇製造業

- ・模索中。
- ・地元にあまり仕事が無いので近畿圏まで広げた営業活動。

- ・売上増による資金の円滑化。

◇サービス業

- ・更なるソフト面の強化。
- ・適正人員配置。

- ・勤務時間の変更、時間帯の見直し。
- ・設備投資による集客拡大、顧客満足の向上。

問4 府・市・会議所への要望。

◇建設業

- ・京都府への要望。入札参加業者数が非常に多いため、施工場所に近い業者に限定する等で業者数を減少させること。

◇小売業

- ・一般小売業適用補助金制度。
- ・購買率がさらに悪化するので、消費税の据え置き。
- ・イベントを開催すれば入込客が増加するという事はない！！長期的な戦略が必要。
- ・地方経済の“活力づくり”をお願いします。

◇卸売業

- ・自社の改善に取り組む必要性が第一であるため、特にございません。
- ・パート労働条件等の厳しさに頭を悩ませております。(都市部以外での最低賃金、就労時間など)
- ・人口増加、観光客増加、産業育成、景気浮揚、何でもよいから効果のある策で早急に実行してほしい。

◇製造業

- ・ただでさえ景気が悪いのに、もっと悪くなるので消費税を上げない。
- ・地元消費の活性化策。

◇サービス業

- ・あらゆる活性化に向けた対策(規制緩和等)の実施。
- ・円高対策、景気回復対策、公共事業費の増加、TPP加入。